

[ 異常時通報連絡の公表文 (様式 1 - 1) ]

伊方3号機タービン動主給水ポンプ油清浄器ガス抽出機の自動停止について

15.9.10  
原子力安全対策推進監  
(内線2352)

[ 異常の区分 ]

国への法律・通達に基づく報告対象事象	有 [評価レベル]	無
県の公表区分	A ・ B ・	C
外部への放射能の放出・漏えい	有 [漏えい量]	無
異常の概要	発生日時	15年 8月15日 8時41分
	発生場所	1号・2号・3号・共用設備
		管理区域内 ・ 管理区域外
種類	・ 設備の故障、異常 ・ 地震、人身事故、その他	

[ 異常の内容 ]

8月15日(金)9時25分、四国電力(株)から、別紙のとおり、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 1 8月15日8時41分、通常運転中の伊方3号機のタービン動主給水ポンプ油清浄器ガス抽出機の異常を示す信号が発信し、ガス抽出機が自動停止した。
- 2 詳細は、調査中である。
- 3 本事象によるプラント運転への影響及び環境への放射能の影響はない。

[ 異常の原因及び復旧状況 ]

8月15日(金)17時40分、四国電力(株)から、原因及び復旧状況について、次のとおり連絡がありました。

- 1 ガス抽出器を分解点検した結果、モータのファン側ベアリングの損傷が認められた。なお、その他の部位には異常は認められなかった。
- 2 このため、モータのベアリングを取り替えて試運転を実施し、健全性を確認の上、8月15日17時30分通常状態に復旧した。
- 3 本事象によるプラント運転への影響及び環境への放射能の影響はない。

県としては、八幡浜中央保健所職員を伊方発電所に派遣し、復旧状況等を確認しました。

(伊方発電所及び周辺の状況)

原子炉の運転状況	1号機	運転中 (出力101%)	・ 停止中
	2号機	運転中 (出力101%)	・ 停止中
	3号機	運転中 (出力104%)	・ 停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況		通常値	・ 異常値
周辺環境放射線の状況		通常値	・ 異常値

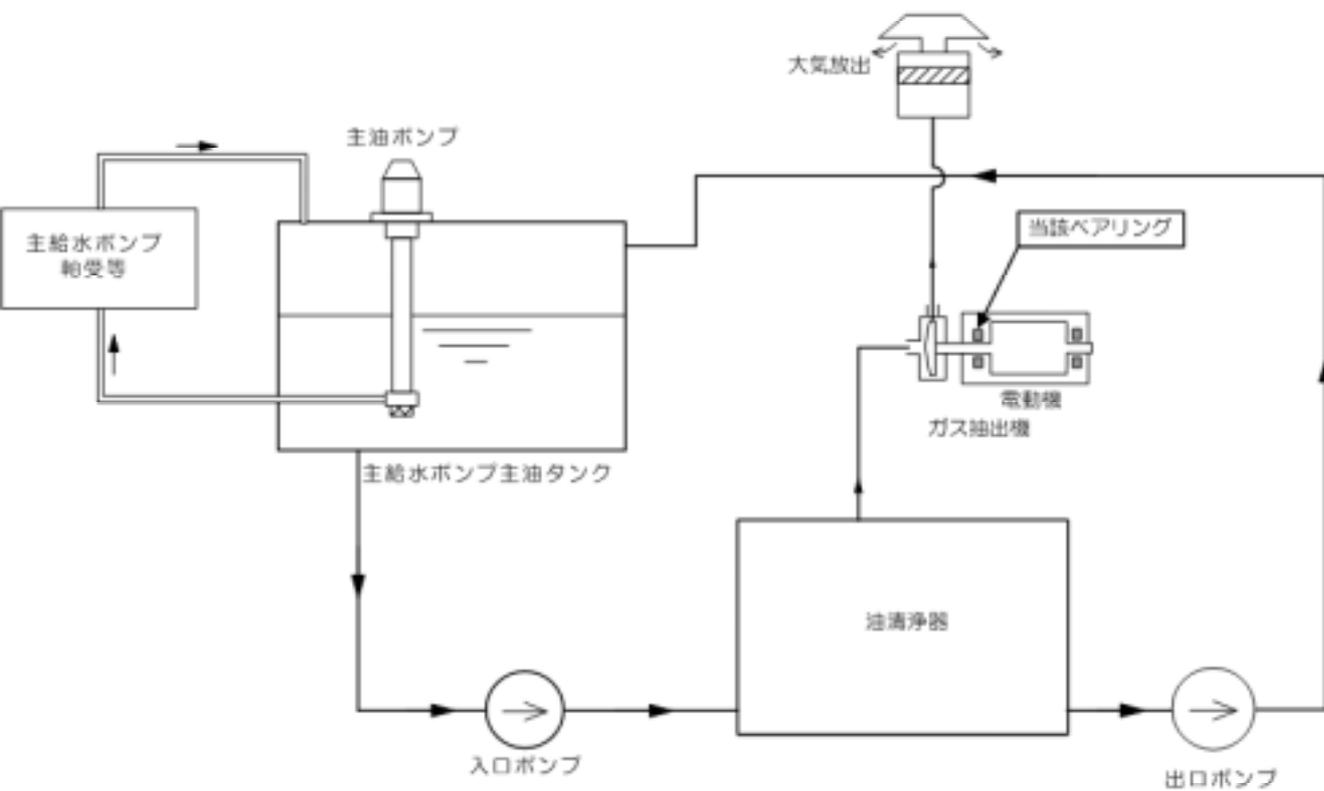
# 伊方発電所情報 (お知らせ)

発信年月日	平成15年 8月15日 (金) 9時 25分
発信者	伊方発電所 宮崎
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ <span style="border: 1px solid black;">3号機(890MW)</span>
	1. 出力928MWにて( <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) <del>2. 第一回定期検査中</del>
発生状況 概要	<span style="border: 1px solid black;">設備トラブル</span> ・ 人身事故 ・ 地震 ・ その他
	1. 発生日時： 8月15日 8時41分(警報発信) 2. 場 所： タービン建屋地下一階(管理区域外) 3. 状 況： 伊方発電所3号機は通常運転中のところ、本日8時41分、タービン動主給水ポンプ油清浄器ガス抽出機の異常を示す警報が発信し、ガス抽出機が自動停止しました。 詳細は、調査中です。  なお、本事象によるプラント運転への影響及び環境への放射能の影響はありません。
運転状況	1号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中 2号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中 3号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中
備 考	添付資料 - 1 伊方発電所第3号機タービン動主給水ポンプ油清浄器ガス抽出機位置図

# 伊方発電所情報 (お知らせ、第2報)

発信年月日	平成15年 8月15日 (金) 17時40分
発信者	伊方発電所 宮崎
当該機	号機 (定格出力)
	発生時 状況
発生状況 概要	1号機(566MW)・2号機(566MW)・ <span style="border: 1px solid black;">3号機(890MW)</span>
	1. 出力928MWにて( <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中) <del>2. 第一回定期検査中</del>
発生状況 概要	<span style="border: 1px solid black;">設備トラブル</span> ・ 人身事故 ・ 地震 ・ その他
	<p>1. 発生日時： 8月15日 8時41分(警報発信)</p> <p>2. 場 所： タービン建屋地下一階(管理区域外).....</p> <p>3. 状 況：</p> <p style="padding-left: 40px;">伊方発電所3号機は通常運転中のところ、本日8時41分、タービン動主給水ポンプ油清浄器ガス抽出機の異常を示す警報が発信し、ガス抽出機が自動停止しました。</p> <p style="text-align: right;">[第1報にてお知らせ済み]</p> <p style="padding-left: 40px;">ガス抽出機を分解点検した結果、モータのファン側ベアリングの損傷が確認されました。なお、その他の部位には異常は認められませんでした。このため、モータのベアリングを取り替えて試運転を実施し、健全性を確認の上、本日17時30分通常状態に復旧しました。</p> <p style="padding-left: 40px;">なお、本事象によるプラント運転への影響及び環境への放射能の影響はありません。</p> <p style="padding-left: 40px;">本事象に係るお知らせは、本報をもって終了させていただきます。</p>
運転状況	1号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中 2号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中 3号機： <span style="border: 1px solid black;">通常運転中</span> ・調整運転中・出力上昇中・出力降下中・定検中
備考	添付資料 - 1 伊方発電所第3号機タービン動主給水ポンプ油清浄器 ガス抽出機位置図 添付資料 - 2 伊方発電所第3号機主給水ポンプ油系統概略図

伊方発電所第3号機  
主給水ポンプ油系統概略図







ガス抽出機外観



損傷部  
(ファン側ベアリング)

モーターのベアリング

# 周辺環境放射線調査結果

(県環境放射線テレメータ装置により確認)

平成15年8月15日(水)

(単位：ナノグレイ/時)

測定局	時刻	測定値					平常の変動幅の最大値	
		8:20	8:30	8:40	8:50	9:00	降雨時	降雨時以外
愛媛県	モニタリングステーション	1.7	1.6	1.7	1.6	1.7	4.1	1.8
	九町モニタリングポスト	5.4	5.3	5.3	5.5	5.4	7.6	6.0
	湊浦モニタリングポスト	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	6.4	5.4
	伊方越 モニタリングポスト	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	-	-
	川永田 モニタリングポスト	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	-	-
	豊之浦 モニタリングポスト	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	-	-
	加周モニタリングポスト	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	-	-
	大成モニタリングポスト	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	-	-
四国電力(株)	モニタリングステーション	1.5	1.4	1.5	1.5	1.4	3.7	1.6
	モニタリングポストNo.1	1.4	1.4	1.5	1.4	1.3	3.9	1.6
	モニタリングポストNo.2	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	3.9	1.6
	モニタリングポストNo.3	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	3.9	1.5
	モニタリングポストNo.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	4.0	1.6

降雨の状況：有・

伊方発電所の排気筒モニタ等にも異常なかった。

(参考)

1 環境放射線の測定値は、降雨等の気象要因や自然条件の変化等により変動するので、原子力安全委員会の環境放射線モニタリング指針に基づき、測定値を「平常の変動幅」と比較して評価しています。

「平常の変動幅」は、過去2年間の測定値を統計処理した幅(平均値±標準偏差の3倍)としており、一般に、測定値が「平常の変動幅」の最大値以下であれば、問題のない測定値と判断されます。

2 環境放射線は線量(グレイ)で表されますが、一般的に、これに0.8を乗じて、人の被ばくの程度を表す線量(シーベルト)に換算しています。

例えば、九町モニタリングポスト(線量率約60ナノグレイ/時)付近では、1年間に約0.4ミリシーベルト(ミリはナノの100万倍を表す)の自然放射線を受けることとなりますが、これは、胃のX線検診を1回受けた場合とほぼ同じ程度の量です。

(放射線量の例)

